

しょうにんとして わたしを よばれました

使徒 1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

学校生活では勉強だけでなく、美術、スポーツ、楽器の演奏をする機会もあります。そのような機会を通して才能を発見したり、将来の希望を持ったりもします。

たくさんの友だちが、ただ学んで才能を探すことで終わります。ところが、神の子どもである私は、学び経験したことすべてが神様の計画を成し遂げる道具になります。神様が、そのようにされることと約束されたからです。私は福音を受けた神の子どもです。神様はこのような私の生活、才能、経験などを世界に福音を伝える証人となるようにしてくださるでしょう。福音の証人です。

がむしやにがんばろうとする前に、一つのことを覚えましょう。世界福音化という神様の大きい絵の中に私がいて、私の才能があるということです。神様はこの契約を信じているレムナントに、福音が深く植えられるようにしてくださり、世界に出て行く門を開いてくださるでしょう。福音を伝える弟子として選ばれたからです。全世界237か国のあちこちで、私のような人々に会うようにされるでしょう。神様の絵のために、福音の証人として立てられる時刻表に挑戦してみましょう。

きょうのみことば



父なる神様！私の学び、経験、才能のすべてが、世界福音化を成し遂げる神様の計画の中にあるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



福音の証人である人が受けた契約があります。きょう私たちに同じようにくださいました。契約を確認して、深く植わるようになぞって書きましょう。

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。

そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。
使徒1章8節のみことば

“But you will receive power when the Holy Spirit has come upon you, and you will be my witnesses in Jerusalem and in all Judea and Samaria, and to the end of the earth.”

Acts 1:8



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

20

かようび

ひとつの きょうかい、 ひとつの くに、 ひとり

使徒
19章 10節

これが二年の間続いたので、アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことは聞いた。

神様は、時代ごとにひとりを通してひとつの国を生かして、ひとつの教会を通して世界を福音化されました。迫害者パウロを伝道者として呼ばれた神様は、世界を福音化できる強大国ローマを生かすことを願っておられました。それゆえ、パウロが持っていたすべての技能で、地域ごとに教会をたてて現場を生かすようにされました。

その結果、力と能力がないように見えた人々が、キリストの弟子として立てられました。それだけではありません。その弟子たちを通して会堂と偶像現場に福音が伝えられました。弟子たちの中には、福音をあかして、自分と同じキリストの弟子をたてた人々がいました。さらには、ローマまで変化させる答えも受けました。

神様は、私たちをパウロとその時代の弟子たちのように呼ばれました。この時代の伝道者、レムナントとしてです。ですから、私の未来は何よりも大切です。私にある小さい技能が、世界を福音化するひとつの国、ひとりを生かす祝福の道具になるでしょう。神様の正確な契約に入るレムナントになりましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様！私を持っている小さな技能を、ひとつの国、ひとり、ひとつの教会を生かすことに用いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

さがして
かこう

キリストの弟子であったパウロは、自分と同じキリストの弟子たちとともに、毎日、福音を宣べ伝えました。どんな現場で起きたのかみことばを通して確認して、（ ）を埋めましょう。

それから、（ ）は会堂に入って、
三か月の間大胆に語り、（ ）について論じて、
彼らを説得しようと努めた。
しかし、ある者たちが（ ）をかたくなにして
聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、
パウロは彼らから身を引き、（ ）たちをも
退かせて、毎日（ ）で論じた。
これが二年の間続いたので、アジアに住む者はみな、
（ ）も（ ）も
主の（ ）を聞いた。

使徒 19 章 8 ~ 10 節のみことば

神の国、パウロ、心、ツラノの講堂、ユダヤ人、ことば、
ギリシヤ人、弟子

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



いって でしと しなさい

マタイ

28章 19～20節

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

十字架で死なれたイエス様が、三日後に復活して弟子たちを訪ねて来られました。そのとき、イエス様を目で見たのですが、疑う人々もいました。しばらくして、イエス様は弟子たちにみことばを与えてから昇天されました。「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」という最後のことを言われました。弟子たちは、このみことばを契約として握りました。そして、すべての現場で弟子を見つけ立てて、世界を生かす証人となりました。

神様は私たちをこの時代のレムナント弟子として呼ばれました。私たちのいる学校の現場、塾の現場、家庭の現場で、私たちのような弟子を見つけることを願っておられます。まず神様のみことばを契約として握って、霊的な力を受けましょう。福音が必要な現場を見るようにくださり、福音が必要な弟子をつけてくださるでしょう。現場を生かして弟子を立ててくださる祝福に、ドブン！と入りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

父なる神様！現場を正しく見る力をください。そして、私が行くところすべてに、私のようなイエス様の弟子を立てることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつけよう

イエス様の弟子を見つけるために、自分の現場に行っている友だちがいます。友だちを描いた2つの絵のちがいを見つけながら、私はどんな心で現場に行くべきなのかを考えましょう。7つちがひがあります。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



しゅが イサクに くださいました

創世記 26章 12~22節

イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。主が彼を祝福してくださったのである。こうして、この人は富み、ますます栄えて、非常に裕福になった。(12-13)

一年の農作業によって、100年生活できる分を収穫した人がいます。神様から100年の答えを受けたイサクです。イサクはその答えを受ける前に、まず3つのことを確認しました。

1つ目、神様の契約、すなわち、みことばは変わらないということです(イザヤ40:6~8、ハバクク2:2~4)。2つ目、神様が私を呼ばれた理由は、全世界237か国のすみずみまで福音を伝えるようにするためだということです(創26:3-4)。3つ目、この契約がどれくらい重要なかが分かりました(創3:15、出3:18、イザヤ7:14、マタイ16:16~20)。創世記3章の、神様を離れて、すべての人間に来るのろいを防ぐ道は、ただイエス・キリストしかないからです。

イサクが3つのことを分かったとき、一年で100年の答えを受けました。ペリシテの人々が井戸をすべてふさいだ時は、湧き水の出る井戸を得ました。ゲラルの羊飼いたちが自分のものだと言って彼らと争ったとき、神様はさらに広いレホボテ(「広々としたところ」という意味)の答えをくださいました。私も神様の変わらない契約と世界福音化の奥義を確認しましょう。私にだけくださる答えを受けるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様! 毎日、イサクのように、神様がともにおられる奥義を心に抱くようにさせてください。そして、行ってすべての現場を生かすレムナントとなるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

イサクのように私にも尊い契約をくださった神様の御名をたたえましょう。讃美歌101番「主イエスのみ名こそ」を歌って、神様に感謝の祈りをささげましょう。

主イエスのみ名こそ
「主の御名はひとり高く、威光は天地に満ちている。」
〔詩148:13〕

101

G. Bethune, 1858
ふつに ♩ = 96

SWEETEST NAME: 8.7.8.7.
W. B. Bradbury, 1861

1. 主 イエスのみ名こそたかくとるしとした
2. 十字架にかかげしだにしろわに
3. 主 はいまも生きてさるそのわに
4. 主 イエスはむかしもいまでもとわに

来られるまえよりさだめし名に
ユダヤのおうとはわれらの王に
つみびとをよねきぞいきたま
そのみ名にまよてさいわいたま

おりかえし
みまえにぬかずき名をうたうは

きこえたみことばとうときみ名に
イエス・キリスト

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



あなたは いま しゅに しゅくふくされています

創世紀
26章 26～33節

それは、^{わたし}私たちがあなたに^{てだ}手出しをせず、ただ、あなたに^{よい}良いことだけをして、^{へいわ}平和のうちにあなたを送り出したように、あなたも^{わたし}私たちに害を加えないということです。あなたは^{いま}今、主に祝福されています。」(29)

イサクは、たくさんの困難の中でも、揺れませんでした。苦しみがあっても、人と争いませんでした。そのようなときには、^{かみさま}神様に祈ってみことばに従いながら、^{せいれい}聖霊の導きを受けました。そのようなイサクを見て、ゲラルの王アビメレクが「^{わたし}私たちは、主があなたとともにおられることを、はっきり見たのです。」(創 26:28)と言って、和解を求めました。彼は神様を信じていなかったのですが、「あなたは^{いま}今、主に祝福されています。」(創 26:29)という告白までしました。

^{かみさま}神様が^{わたし}私たちを通してしようとされていることがあります。イサクのように^{かみさま}神様に信じない人々に、神様が生きておられることを見せることです。そして、そのことによって、栄光を受けることを願っておられます。そのような^{わたし}私たちが行く所には、神様の証が必ずくようになります。イサクのように戦わずに勝つことができます。死んでいく現場、時代、国家を生かすようになります。私たちが行く所ごとに福音が伝わるようになるためです。私たちはイサクのように主に祝福された身分です。今日、この身分を味わいながら、現場のイサクになって、^{かみさま}神様に栄光をささげる一日を送りましょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

父なる神様！私をイサクのように、神の子ども、主に祝福された者として呼んでくださって、ありがとうございます。イサクのように戦わずに勝つ答えを、毎日、与えてくださり、神様が生きておられることを、すべての人が見ることができる証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

インマヌエル教会聖日2部 | 2017.9.17



ワーク

^{しゅ}主なる神様は、^{かみさま}王の王です。神の子どもにくださった^{みぶん}身分の王冠があります。おりがみで、^{わたし}私はどんな身分を持っているのか、^{かくにん}確認しましょう。

神の国^{かみ}の王女^{くに}、王子^{おうじよ}！ 神の子ども^{かみ}の身分^この王冠^{みぶん}をつくろう



おりがみを三角に2回おって
広げて、まんなか
に十字のおり線をつけます



ちゅうしんに
4つのはしをあわせて
おって、ひっくり
かえます



四角の下の辺をまんなかの
おりせんに合わせておきます。
裏側の三角がおれないように
してください。もう片方の
四角の辺も同じようにおきます



4つのはしにある小さな
三角形を内側におりこみます



おりこんだ三角形を
のりでつけます



まんなかを広げて
4つの三角がでるようにします
4つの面に神の子ども^{めん}の7つの祝福^{かみ}を
書きましょう

参考：

<https://www.youtube.com/watch?v=qHqjHyxkEs> 動画でおり方を説明しているものはこちらです(訳者注)

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料



かみさまの おせっきょう

使徒

19章 8～10節

それから、パウロは会堂に入って、三か月の間大胆に語り、神の国について論じて、彼らを説得しようと努めた。しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。これが二年の間続いたので、アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。

私を心配するママのお説教に終わりがありません。ママは、なぜお説教をするのでしょうか。重要なことを必ず覚えてほしくて、なんども言うのです。

教会で、または、家で「キリスト!」ということばをなんども聞いて、聞き飽きたように感じる時がないでしょうか。神様は聖書で旧約と新約を通して、イスラエルが体験した滅亡の歴史を記録されました。それだけでなく、全世界の人にキリストが絶対に必要な理由を説明しておられます。ですから、ときには、神様のお説教のように感じられることもあるでしょう。しかし、とても重要なことから、ずっと言われるのです。

私は神様のお説教を聞き流してはなりません。世の中を生きる唯一の方法であるからです。伝道者パウロにもくださったその方法を、私にもくださいました。今日、神様の前で、キリストの驚くべき力を体験する、その時間を持ちましょう。私のみことは黙想の時間を持って、心から祈りましょう。そのときが、私の心に神様のみことばを入れる時間になるでしょう。福音が必要な理由も知ようになります。そのような私を通して、神様はあちこちに福音が伝えられるようにされるでしょう。

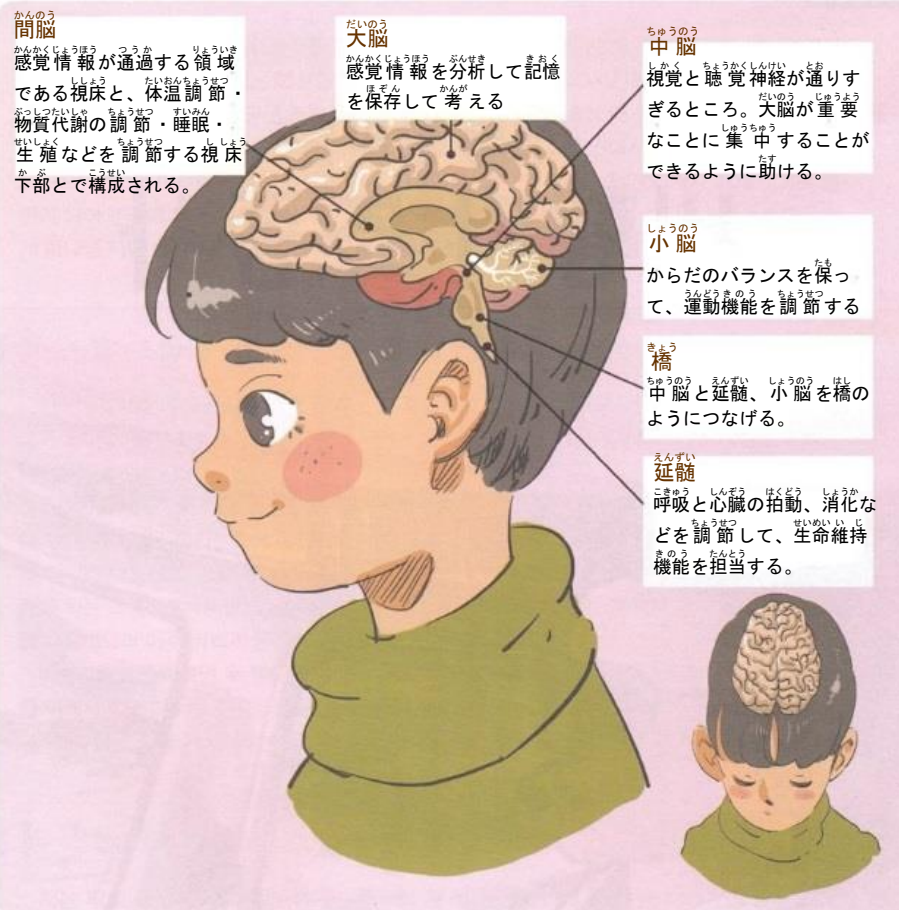
きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様! なんども聞くキリストが、私に力となって、多くの人を生かす証人になることを願います。きょうも、キリストが私の心に信仰として臨むように祈ります。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様のお説教? いいえ。神様の契約であるキリストを深く黙想するのなら、脳まで変わることができます。脳にどんな機能があるのか詳しく見て、確認しましょう。



きょうのでんどう

会人

準備する資料